

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	男女共同参画推進事業					事業コード	730302					
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち				政策目標	2 仕事と調和の取れたライフスタイルの確立					
	施策名	1 男女共同参画の推進				施策コード	721					
事業担当	所属	02120000 地域振興部 人権推進室				所属長	芦田 直也					
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	110・112	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	第4次福知山市男女共同参画計画「はばたきプラン2021」 <small>(配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・自立支援に関する計画(第3次))</small>			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市男女共同参画推進条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	男女共同参画保護救済事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	男女共同参画社会の実現をめざして、福知山市男女共同参画推進条例に基づき策定した「第4次福知山市男女共同参画計画 はばたきプラン2021」の趣旨を広く市民に啓発し、同計画に基づく施策を推進する。											
対象者	市民	対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.2						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス株式会社											
事業概要 (箇条書き)	・男女共同参画審議会の開催 ・市民協働による啓発事業 ・女性活躍推進事業 ・女性起業家応援事業 ・DV防止啓発関係(ワークショップ、街頭啓発等) ・男女共同参画に関する情報収集と施策展開に関する調査研究 等											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報酬・報償費・旅費	503	セミナー講師謝礼、保育サポーター謝礼、男女共同参画審議会委員報酬									
	需用費	270	プリンタートナー、カートリッジ、色上質紙、デートDV防止リーフレット、啓発物品(ポスター、ウェットティッシュ)									
	役務費	58	郵送料									
	負担金補助及び交付金	91	女性活躍応援事業費補助金(2件)									
委託料	14	福祉バス 運転代行業務										

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,755	1,693	1,664	2,030				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	1,755	1,693	1,664	2,030					
予算財源内訳	① 一般財源	1,337	1,417	1,344	1,711				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	418	276	320	319				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	1,755	1,693						
	③ 執行額	851	936						
	④ 執行率	48.5%	55.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	2.11 / 0.00	2.11 / 0.00	2.11 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	16,880	16,880	16,880	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	17,731	17,816	16,880	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権問題啓発事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	110	決算付属資料	24	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	審議会、委員会等の女性委員割合	%	29.6 / 30	29.8 / 30	30 / 30	/ 30	30
セミナー、講座への参加者数	人	1084 / 1050	689 / 1050	1218 / 1050	/ 1200	1050	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	講座等開催回数	回	16 / 16	12 / 16	10 / 16	/ 16	16
	単位あたりコスト		81.8	70.9	93.6		
	情報紙発行部数	部	2000 / 2000	2000 / 2000	720 / 2000	/ 2000	2000
単位あたりコスト		0.7	0.4	1.3			

男女共同参画推進事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>性の多様性や性教育をテーマにした講演会、中高生を対象としたデートDVワークショップ、女性起業家育成に向けたチャレンジショップの実施等、子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とした取組を実施した。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー開催にあたり、国府の補助金を活用し、コストを削減している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>性の多様性や性教育をテーマにした講演会、中高生を対象としたデートDVワークショップ、女性起業家育成に向けたチャレンジショップの実施等の取組を実施した。</li> <li>市内の女性団体によるネットワーク(はばたきネットワーク)を組織し、学習や情報交換の場としている。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニーズや社会情勢等に応じたテーマの選定を行い、より多くの市民に「男女共同参画」「女性の権利」を考えてもらうきっかけとなるよう、事業を展開する必要がある。</li> <li>企業向けのセミナーについて、よりニーズに即した内容となるよう、外部機関と連携する等の検討が必要。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>より効果的な広報ができるよう、方法や連携する機関について検討が必要。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナーについては、民間団体とも連携し、柔軟な開催方法や、効果的な広報ができるよう検討が必要である。</li> <li>デートDVのワークショップは、参加校が固定化している傾向があるため、多くの学校に参加してもらえるよう、呼びかけを行う。</li> </ul>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: — ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: — )
--------	---



V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性相談(専門カウンセラー)22回、性別にこだわらない相談(専門カウンセラー)4回、男性のための電話相談(男性の臨床心理士)4回、女性法律相談(女性の弁護士)8回を実施した。</li> <li>随時の相談を実施し、必要に応じて庁内の関係部署、外部の関係機関と連携をとり、支援を実施した。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談内容によって、庁内の他部署(市民課、保険年金課、福祉保健部各課)と連携し、切れ目のない支援を実施している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談者数は、令和2年度192人から令和3年度158人と減少したが、相談件数は増加している。</li> <li>相談機会を知ったきっかけを把握し、有効な広報活動を検討する必要がある。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内外の関係部署、関係機関(警察、北部家庭支援センター等)との月1回の定例会議や、日常的な情報共有を通し、適切な支援を実施できた。</li> <li>今後、複雑化複合化した相談にも十分対応できるよう、職員のスキルアップが必要となる。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談業務に関する研修に、積極的に参加をする。</li> <li>必要に応じ、専門相談員の配置を検討する。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修への参加や、日常業務での情報共有をとおし、相談に対応する職員のスキルアップをめざす。</li> <li>男性の相談者数が少ないため、学校や商業施設などにもチラシを配布するなど、啓発を行う。</li> </ul>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: — ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: — )
--------	---

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	婦人教育事業					事業コード	630235					
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち				政策目標	2 仕事と調和の取れたライフスタイルの確立					
	施策名	1 男女共同参画の推進				施策コード	721					
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課				所属長	浅田 久子					
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	228	頁
計画期間	開始年度	昭和21年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況			継続中			
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	人権尊重を基盤として、男女共同参画社会の実現に向けて、学習・実践を進める。											
対象者	婦人会会員				対象者数	139		単位あたりコスト	6.0			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	福知山市連合婦人会 京都ユニオンサービス(バス運転代行)											
事業概要 (箇条書き)	福知山市連合婦人会を通じた研修(生涯学習講座)支援 母の日大会開催、ブロック別リーダー研修会、生涯学習講座、京都女性の健康フェスティバル参加、各種京都府連行・研修会等参加											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容							
	旅費	1			職員旅費							
	需用費	6			福祉バス燃料費(研修参加)							
	委託料	32			福祉バス運転代行委託(研修参加)							
	負担金補助及び交付金	235			共催事業(生涯学習講座・ブロック別研修会)負担金							

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	356		351		351		351				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①~③)	356		351		351		351					
予算財源内訳	① 一般財源	356		351		351		351				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		△ 7								
	② 配当予算	356		344								
	③ 執行額	235		274								
	④ 執行率	66.0%		79.7%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.04	/	0.40	0.07	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	1,320		560		560		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,555		834		560		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称				種類			実績金額			決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	市民参加者数	人	300 / 300	251 / 300	250 / 300	/ 300	300
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	活動回数	回	8 / 8	6 / 8	6 / 8	/ 8	8
	単位あたりコスト		46.5	39.2	45.7		
	単位あたりコスト		/	5 /	/	/	婦人教育事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連合婦人会の会員が各地域の役員や市の各種団体などの委員として活動方針や運営についての決定等にかかわった。女性の立場からの意見が反映されることは重要である。</li> <li>・人権問題や環境問題など、今日的課題に係わる研修は社会参加への入り口となる学びの場であった。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金だけでなく、受益者も会費や参加費等を負担しながら事業運営を行った。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間8回の事業計画の内、年度始めと終わりの大きな大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、6回の生涯学習講座は開催時期や内容を工夫しながら実施でき、延べ250人の参加者を得た。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●女性団体として、市の各種事業に積極的に携わり、活動を推進する力となっている。</li> <li>●人権問題や地球温暖化対策等の今日的課題解決に向けた研修は、女性の資質及び地位向上に役立つものとなっている。</li> <li>●コロナ禍にあって、事業の自粛や縮小により、会員のコミュニケーションの場が減少している。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今年度はウイズコロナの新たな日常の中でコロナ対策を徹底し、可能な限り計画している事業を実施していく。会員のコミュニケーションの場を確保することにより、会員及び地域の活力を取り戻していく。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人会活動を地域活性化の礎とし、女性の生涯学習活動を充実させていく。</li> </ul>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合            (統合事業名: — ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合            (統合先事業名: — )
--------	---